

国語 文法練習問題 ①

① 敬語

次の敬語は、ア～ウのどれに当たりますか。
記号で書きなさい。

- ① 山田さんが夕食をめしあがる。 ()
- ② 町長に、申し上げます。 ()
- ③ これは兄の本です。 ()
- ④ 教頭先生がおたずねになる。 ()
- ⑤ 教頭先生におたずねする。 ()
- ア 尊敬語
イ けんじょう語
ウ ていねい語

② 慣用句

次の文の□に当てはまる慣用句を、後のア～カから選び、文を完成させなさい。

- 1 その考えは、あまりに現実ばなれして
いて、□ような話だ。 ()
- 2 山田さんとは□で、いつもいっしょに
あそんでいる。 ()
- 3 あふたりは、顔が□だ。 ()
- ア 雲をつかむ イ 馬が合う
ウ 道草を食う エ うり二つ
オ 頭をひねる カ 話に花がさく

尊敬語…相手を敬う

- ① 「いらっしゃる」「おっしゃる」
② 「お(へ)になる」という言い方
③ 「・れる(られる)」という言い方
④ 「ご卒業」などの言い方

謙譲語…自分や身内の動作をけんそんする

- ① 「うかがう」「いただく」
② 「お見送りする」などの言い方

ていねい語…ていねいに言う

「です」「ます」「いただきます」など

慣用句…習慣として長い間使われてきた、二つ以上の言葉が組み合わさって新しい意味をもつようになった決まり文句

顔から火が出る…恥ずかしくて顔が赤くなる
顔が広い…知り合いが多い
口が軽い…秘密などをすぐにもらしてしまう
目を丸くする…驚いて目を見開く
猫の手も借りたい…非常に忙しく誰でも手伝ってほしい
雲をつかむ…ばくぜんとしてとらえどころがない

国語 文法練習問題 ②

()

③ 漢字の成り立ち

漢字の成り立ちについて①～⑥の漢字にあ
うものをア～ウから選び、書きなさい。

ア ものの形をかたどってできた文字
イ 絵にしにくい事がらを、印などで表して
できた文字

ウ 漢字を組み合わせてもとの漢字と
は別の意味を表した文字
エ 音を表す部分と、意味を表す部分を、あ
わせてできた文字

① 川 () ④ 森 ()

② 下 () ⑤ 板 ()

③ 明 () ⑥ 天 ()

④ 漢字辞典

次のア～エの漢字を、漢字辞典で、部首さ
くいんを使ってさがしました。いちばんはじ
めに出てくる漢字はどれですか。それぞれ答
えなさい。

① ア 油 イ 池 ウ 話 エ 語

()

② ア 持 イ 体 ウ 松 エ 間

()

象形文字…ものの形をかたどってで
きた文字
例…日・山・木・川

指示文字…絵に表しにく事がらを、
印などで表してできた文
字
例…上・下・本・天・三

会意文字…漢字を組み合わせてもと
もと漢字とは別の意味を
表した文字
例…岩・森・明・鳴

形声文字…音を表す部分と、意味を
表す部分を、あわせてで
きた文字
例…銅・板・晴

音訓さく引…漢字の音訓が分かってい
るとき
五十音順にならんでいる

部首さく引…部首が分かっているとき
画数の少ないものから順
にならんでいる

総画さく引…読みも部首も分らない
とき
総画数の少ないものから
順にならんでいる

国語 文法練習問題 ③

() ()

① ローマ字

次の言葉をローマ字で書くと、どう書きま
すか。

① おとうさん

② しやしん

② 主語・述語

次の文の主語を書き出しなさい。

① 先生の 言葉に ぼくは
ほっとした。

() ()

次の文の述語を書き出しなさい。

② がんの群れが、ばたばた
と 飛び立ちました。

() ()

ローマ字のきまり

① 「きゃ」「きゅ」「きょ」
などの音は、
「kya」「kyu」「kyo」
のように、3字で書き表しま
す。

例：電車⇨densya
金魚⇨kingyo

② つまる音は、
「きくぷ」⇨「kippu」
のように、次の音のはじめの
文字をかさねて書き表します。
例：にっき⇨nikki
がっき⇨gakki

「何が」「だれが」を示す言葉を
主語と言います。

「どうした」「どうする」を示す
言葉を述語と言います。

「わたしは遊びに行きました。」と
いう文章では、「わたしは」が主
語、「行きました。」が述語になり
ます。

国語 文法練習問題 ④

()

③ 修飾語

線の言葉は、文の中のどの言葉をくわしくしていますか。

- ① 母は きれいな 鳥の 話
を してくれました。

()

- ② 昨日の とても 強い
風で 木が たおれた。

()

④ 指示語

次の文の□に当てはまる言葉を、一つずつ選び、その記号に丸を付けなさい。

- ① 山の上に、青い屋根の学校が見えますね。□が、この町の名物です。
ア これ イ どれ ウ あれ

- ② ぼくは、お母さんにお菓子を買ってもらいました。□を持って、友達の家に行きました。
ア それ イ どれ ウ あれ

よく相手に伝わるように、くわしくする言葉を修飾語と言います。

わたしは、きのう、真っ白の犬のポチと公園を笑いながら走りました。

「何を」「だれに」「いつ」「どこで」「どこ」「どんな」に当たる言葉を修飾語と言います。

そのほか、「どのくらい」「どのように」に当たる言葉も修飾語になります。

「こ」：「これ」 聞き手に近いものを指すときに使う。
「そ」：「それ」 話し手からも聞き手からも遠いものを指すときに使う。
「あ」：「あれ」 話し手に近いものを指すときに使う。
「ど」：「どれ」 はっきりわからないものを指すときに使う。

① 仮名づかい

正しいものを二つ選び、丸を付けましょう。

- ① とうい ()
- ② てづくり ()
- ③ ちぢむ ()
- ④ きづく ()
- ⑤ おねいさん ()

② 敬語

けんじょう語が含まれているものに二つ選び、番号を書きましょう。

- ① 先生が食事を食べられる。 ()
- ② 先生の絵を拝見する。 ()
- ③ 先生の考えをうかがう。 ()
- ④ この文は先生が書きました。 ()
- ⑤ 一時頃行きますと先生がおっしゃった。 ()

仮名づかいのルール

「う」ではなく「お」と書く言葉

- とおく ×とうく
- おおきな ×おうきな
- こおり ×こうり
- おおく ×おうく
- とお ×とう

いろいろなルール

- たいいく ×たいく
- しゅくだい ×しくだい
- ぜんいん ×ぜいん
- はなぢ ×はなじ
- おこづかい ×おこずかい

尊敬語：相手を敬う

- ① 「いらっしゃる」「おっしゃる」
- ② 「お()になる」という言い方
- ③ 「・・れる(られる)」という言い方
- ④ 「ご卒業」などのような言い方

謙譲語：自分や身内の動作をけんそんする

- ① 「うかがう」「いただく」
- ② 「お見送りする」などの言い方

ていねい語：ていねいに言う

「です」「ます」「ございます」など

国語 文法練習問題 ⑥

③ 敬語

敬語に直したときに正しいものを一つずつ選び記号を書きましょう。

① 校長先生がこちらに来る。

ア うかがいます イ おっしゃります
ウ お来られます エ 来られます

② 山田さんの家で、夕食を食べる。

ア いただく イ たまわる
ウ めしあがる エ ちょうだいする

④ 熟語の組み合わせ

熟語の組み立ての説明に合うように、それぞれを□の中から漢字を二つ選び、それを組み合わせて熟語を作りましょう。

① 意味の似ている漢字を組み合わせ

たもの () ()

絵 土 道 画 水

② 反対の意味の漢字を組み合わせた

もの () ()

往 軽 復 高 少

尊敬語…相手を敬う

- ① 「いらつしやる」「おつしやる」
- ② 「お(ご)・・・になる」という言い方
- ③ 「・・・れる(られる)」「という言い方
- ④ 「ご卒業」などのような言い方

謙讓語…自分や身内の動作をけんそんする

- ① 「うかがう」「いただく」
- ② 「お見送りする」などの言い方

ていねい語…ていねいに言う

「です」「ます」「ございます」など

① 似た意味の漢字の組み合わせ

例(価値) 「かち」

② 意味が対になる漢字の組み合わせ

例(縦横) 「じゅうおう」

③ 上の漢字が下の漢字を修飾する関係にある組み合わせ

例(最善) 「さいぜん」

④ 「〇〇を」「〇〇に」に当たる意味の漢字が下に来る組み合わせ

例(洗顔) 「せんがん」